

西小学校便り

第2号

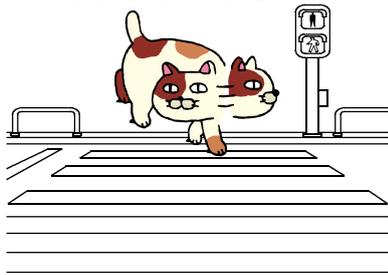
令和3年4月30日

発行 錦町立西小学校校長室

本当にあった話

球磨郡内のある学校に勤めていたときのできごとです。仕事を終えた私は、錦町木上の県道を車で帰宅していました。日もとっぷりと暮れ、あたりは闇に包まれていました。すれ違う人も車もほとんどありません。とある交差点にさしかかると赤信号になったので停車しました。そこにいるのは私の車だけでした。ぼんやり窓の外を眺めていると、右手の歩道に一匹の野良猫が姿を現しました。その猫は横断歩道の手前で立ち止まると、左右を見渡しました。そして、私の車の前の横断歩道をトコトコ足早に通り過ぎ、闇の中へ消えていきました。

なんだこの猫は！？（歩行者用信号が）青信号でも立ち止まって、左右を確認して横断歩道を渡ってるじゃないか！なんておりこうさんなんだ！



4月20日と21日に交通安全教室を実施しました。交通指導員、人吉警察署、役場総務課の方々にご指導をいただき、子どもたちは安全な道路横断の仕方や自転車の乗り方などについて学習しました。学習したことをいつもしっかり意識して、交通事故防止に努めてほしいと思います。

錦町内の道路には危険と思われる箇所がたくさんあります。

事故防止のためのハード面の整備や法令の改正は、手続きや予算等の関係もあり、すぐには対応できない部分があるかと思えます。私たちに今すぐにできる手段は「指導」です。子どもたちには生活圏に潜む危険について具体的に指導し注意喚起していく必要がありますが、私なりに次のようにまとめてみました。

①歩行者も自転車も道路を横断するときは、必ず立ち止まり左右を確認する。（猫だってやっている。）横断歩道だからといって油断はしないこと。

②自転車に乗るときは必ずヘルメットを着用する。安全な速度と経路を常に意識する。

③歩行者も自転車も常に周りの状況を把握しておく。前方だけでなく後方も。路面の状況、通行車両の状況、交通標識等々。小学生の場合、友だちとの話に夢中になって、危険に気がつかないことがあります。

④危険を予測したり想定したりする習慣をつける。見通しの悪い場所では、車が隠れているのではないかと想定する。登校班列に車が突っ込んだという事件はたくさん発生しています。

親子で道を歩くときに「もし、あの車がこっちに来たら」とシミュレーションする学習も効果があると思います。

このほかにもありますが、ご家庭でもお気づきの点をお子さんの成長段階に応じて、親子で話題にしていいただければと思います。また、特に、明日からの連休中の事故防止についてもご指導をよろしくお願いします。

5月の主な行事

- 6～7日 児童宅巡回
- 10日(月) 歯科検診(123年)
- 11日(火) 運動会結団式
- 12日(水) 検尿容器配付
- 13日(木) 検尿回収
内科検診(456年)
- 14日(金) 眼科検診(123年)
- 17日(月)～美化作業週間
- 18～20日 諸費納入日
- 20日(木) 内科検診(123年)
- 24日(月) 運動会シミュレーション
- 26日(水) 振替休業日
- 27日(木) 全国学力・学習状況調査(6年のみ)
- 29日(土) 運動会準備
- 30日(日) 運動会

※運動会は午前半日開催の計画で準備を進めています。新型コロナウイルスの熊本県リスクレベルが「5 厳戒警報」になったことを受け、教育委員会のご指導を仰ぎながら、感染拡大防止のための手立てを検討中です。コロナの状況次第では、日程や種目の変更、参観者の制限などを急遽行うことがあるかもしれませんので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

耳寄り情報

錦町には、児童の英語力や学習意欲の向上を図るために、英語検定(英検)を受検した小学生に受検料を補助する制度があります。学習塾等で受検されたら、証明書類を小学校へご持参ください。年度内であれば1人複数回の利用もできます。お問い合わせは、本校または教育委員会へ。